

## 塚原古墳群(坂戸市)

前方から左手にかけての雑木林一帯に塚原古墳群が広がる



左手を見たところ/現在宅地開発中のように手前の部分は下草が刈られ地表面がはっきりと出ている



これは円墳のようだ/北側から見たところ



南側から見たところ



その円墳の墳頂に登って西側を見る/こちらの方には前方後円墳などがあるとのことだが、藪がひどくて見えない



これは同じ墳頂から南方向を見たところ/正面は前方後円墳の高まりのようだ



その高まりの頂部に登って北方向に先ほどの円墳を見たところ



同じ頂部から東方向を見る/左前方に見える高まりは塚原5号墳





振り返って西方向を見る/かなり先まで頂部が続いている



これは頂部を西方向へ少し進み、途中(「くびれ」の辺りか)で振り返って東方向を見たところ



高まりの南側に下りて、「くびれ」の辺りを見上げたところ



その右手(こちらが後円部か)を見る



左手(こちらは前方部か)を見る



前方部の墳丘裾を見る



これはその裾から西側を見たところで、この奥にも前方後円墳などの古墳が点在しているとのことだが、やはり藪で良く見えない



さて、最初の道路に戻って雑木林の西側に回ってみよう/左手のエリアに前方後円墳3基をはじめ円墳があるのだが





右手の住宅との境に雑木林の西側の小道がある

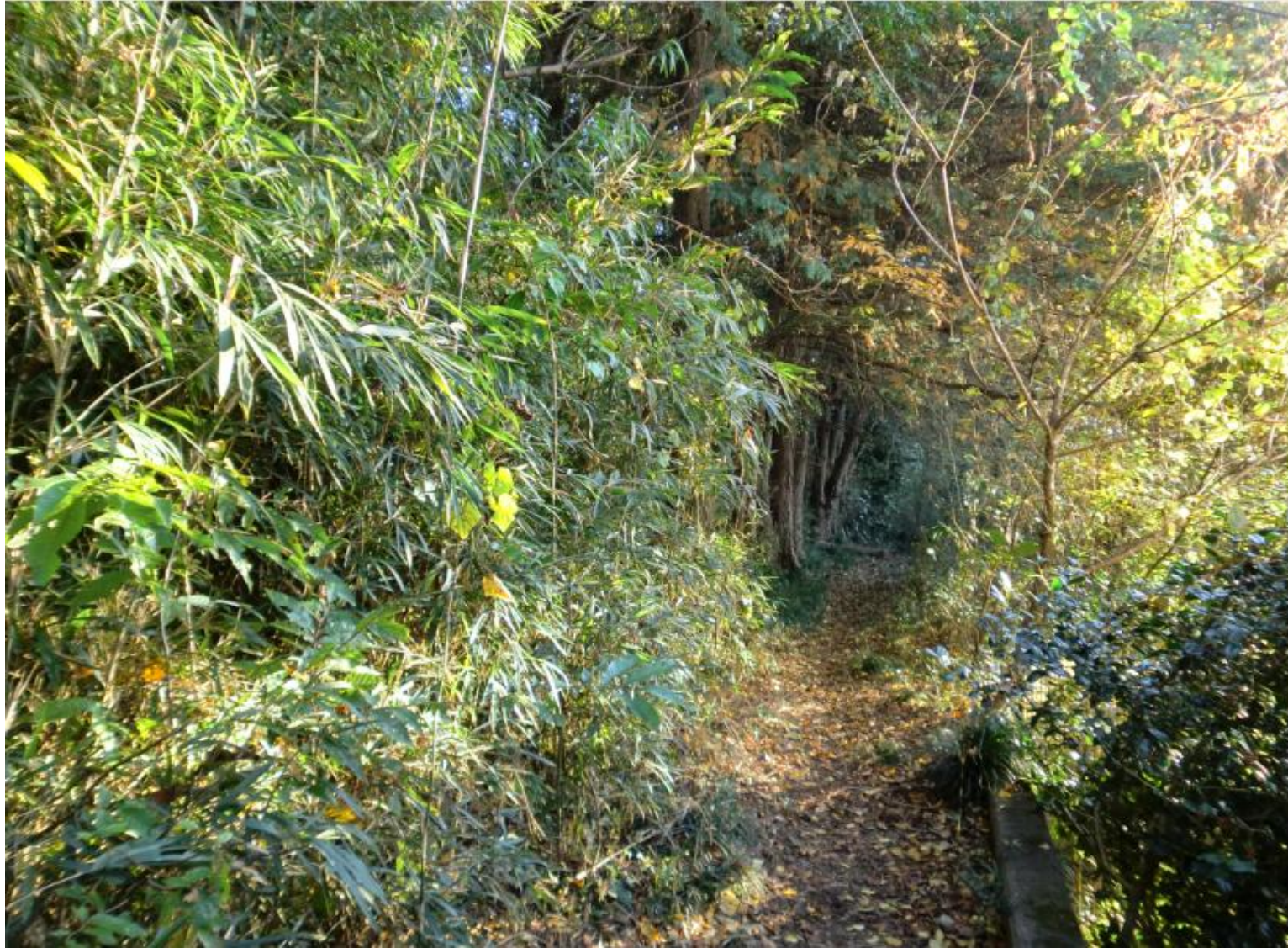


その小道を進んでみよう





古墳群エリアを左手に見て前(南方向)に進む/左手の中に古墳があるはずだが藪で良く確認できない



だが少し進むと左手に一つ高まりが見えた/円墳のようだ



さて、これは雑木林の西側から南側に廻り込んで古墳エリアを見たところ/こちら側からも雑木林の中には足を踏み込める状況ではなかった



これはその南側を東方向に進んで、最初に見た円墳や前方後円墳があったところを見たところ/正面の木々の辺り



そこから右手に目をやると、ここにも高まりがある





これは塚原5号墳である/円墳/南側から見たところ



東側から見たところ



なお、上記の塚原古墳群は毛呂山町の大類古墳群と一体のものであり、行政区分上、別名が付いているが、苦林古墳群の一部。ちなみに塚原古墳群と道を挟んで以下のように大類古墳群が広がる。共に6世紀末から7世紀を中心に築かれた群集墳とのこと。赤で囲んだ範囲が今回調査した塚原古墳群のエリア/道を挟んでその下側は大類古墳群になる

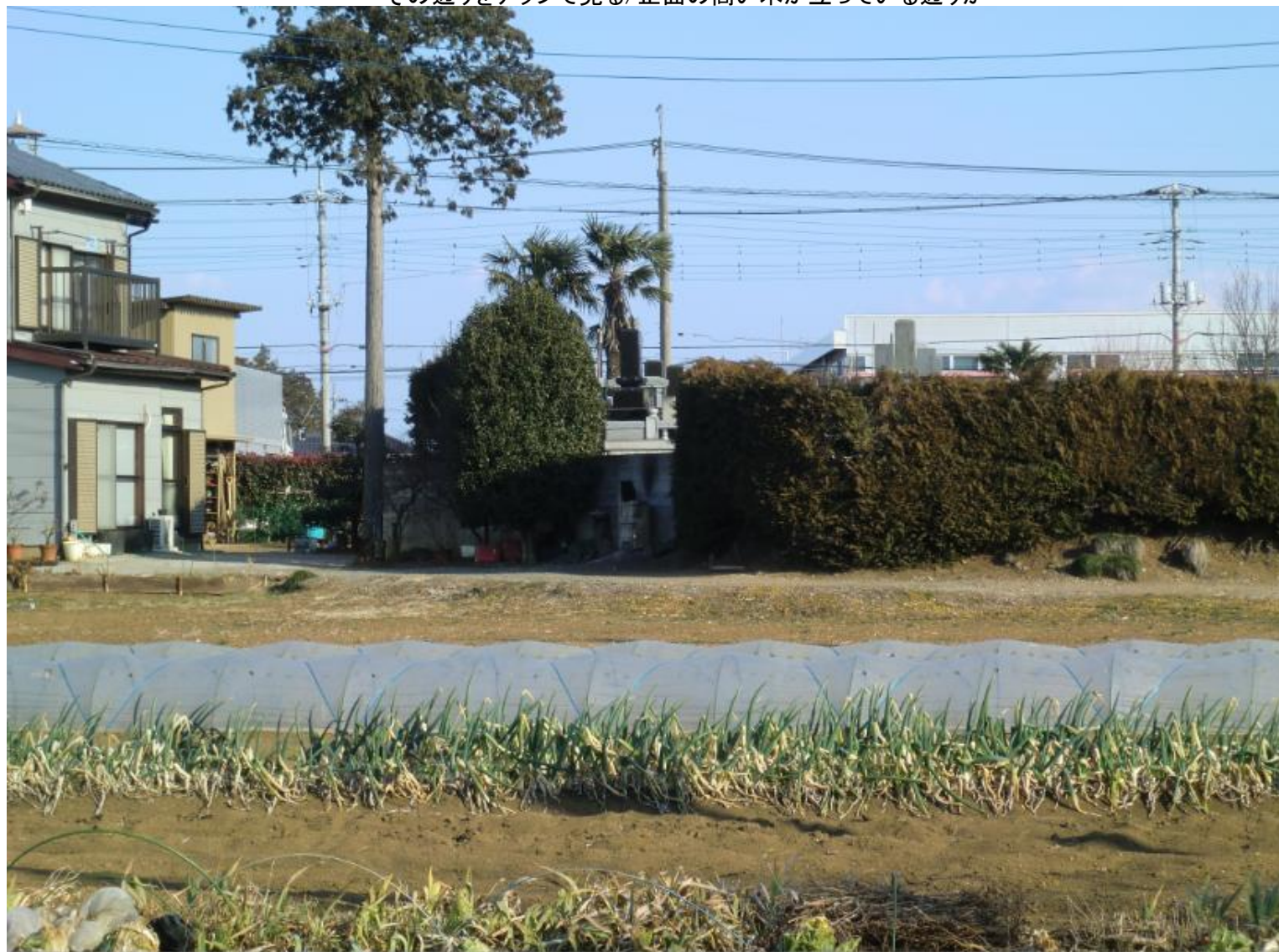


大東文化大学オープンカレッジ/平成23年秋季講座/遺跡・古墳が語るわがまちの古代(坂戸・入間の古代史)の資料を利用

さて、上記で見た古墳群とは少し東に離れたところに所在する14号墳(円墳)は正面の墓地の一部となっているようだ



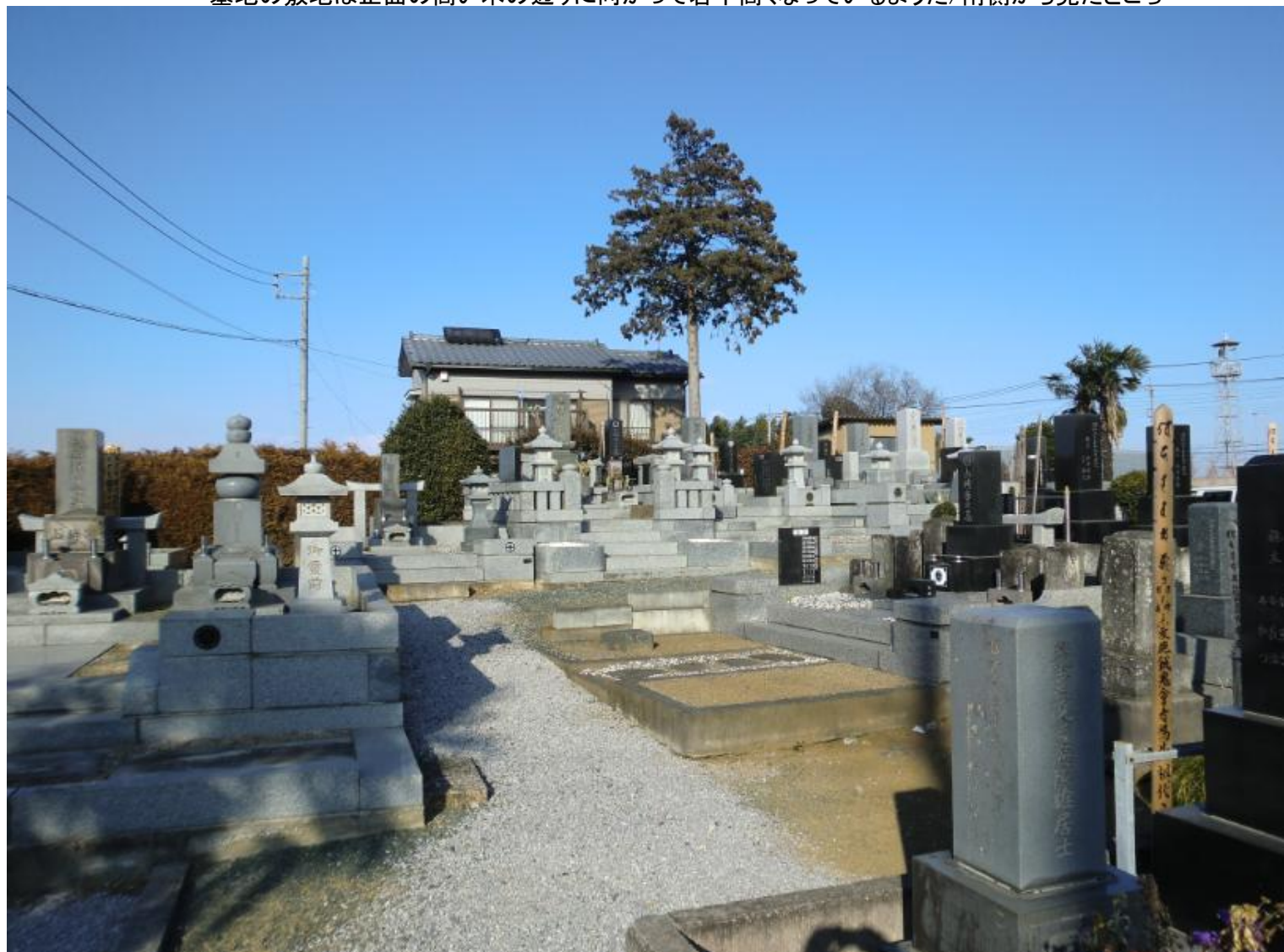
その辺りをアップで見る/正面の高い木が立っている辺りか



道路から墓地に入ってみよう



墓地の敷地は正面の高い木の辺りに向かって若干高くなっているようだ/南側から見たところ



その高まりの部分を東側から見たところ/右側の民家のある辺りは削られてしまったところなのかもしれない





赤丸のところが14号墳



参考ホームページ

<http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/category/saitama/sakado/page/2/>

